

サステナブル社会実現に向けた課題設定

岩田地崎建設は、「建設事業を通して人と自然の最適環境づくりに貢献する」という経営理念のもと、永続的な社会・地球環境の構築を目指し、これらの計画を着実に実践していきます。

サステナブル社会実現のために取り組むべき課題を抽出し、解決へ向けた**目標および指標(KPI)**を設定しています。企業活動を通じて達成すべき目標を明確に示すと共に、関係者の皆さまにもその取り組み状況を年度ごとに報告します。

岩田地崎建設株式会社 2021年度SDGs取り組み状況の報告 (2020年4月1日～2021年3月31日)

課 題		キーワード	活 動 内 容	2020年度 指 標 (K P I)	2020年度 目 標	2020年度 実 績	評価 (※1)	2021年度 指 標 (K P I)	2021年度 目 標
1	持続可能な企業活動 	コンプライアンスの推進 ガバナンスの強化	役職員へのコンプライアンス 研修の実施	コンプライアンス研修実施回数	2回/年以上	3回/年 (Web形式による)	◎	コンプライアンス研修実施回数	2回/年以上
			コンプライアンスの徹底	重大な違反の件数	0件/年	0件	◎	重大な違反の件数	0件/年
		情報セキュリティの強化	セキュリティに関しての 情報発信、管理室での常時監視	情報漏えい(セキュリティ事故) 件数	0件/年	0件 (※2)	◎	情報漏えい(セキュリティ事故)件数 情報セキュリティの強化と検証	0件/年 1回/年以上
		BCP(事業継続計画) の推進	前年度訓練の評価に基づく より実践的な災害発生時の 行動の確立	BCP災害対応訓練 及び課題の洗い出し	1回/年以上	1回	◎	BCP災害対応訓練及び課題の洗い出し ハードソフト両面の防災能力向上検討	1回/年以上 —
2	地域・社会への貢献 	学校教育分野に おける活動	インターンシップの取り組みの深化	インターンシップ要請に 対する受入率	100%	100%	◎	インターンシップ要請に 対する受入率	100%
			職場体験学習等の開催・協力	開催・協力件数	3件/年以上	コロナ禍により 実施できず	—	開催・協力件数	3件/年以上
		地域・社会への貢献	地域の歴史・文化活動への参画	イベント・地域貢献活動への 参画件数	100件/年以上	170件	◎	イベント・地域貢献活動への 参画件数	100件/年以上
3	環境保全への取り組み 	生物多様性の保全 への取り組み	生態系の保全を目指した 緑の水田プロジェクトの実施	プロジェクトの継続と拡充		継続推進	◎	プロジェクトの継続 新プロジェクトへの着手	
4	快適な職場環境の実現 	週休二日(現場閉所)に 向けた取り組み	週休二日(現場閉所)の 実現に向けた環境整備	2021年度末までに 4週8閉所の実現	4週6閉所の 定着	継続推進	—	2021年度末までに 4週8閉所の実現	4週8閉所の 試行
		女性の活動推進	女性技術者の採用と 希望者の現場配属推進	現場配属希望者の現場配属率	100%	100%	◎	現場配属希望者の現場配属率	100%
			女性技術者現場配属推進に 向けた環境の整備	現場への女性専用トイレ等の 環境整備率	50%以上	33%	○	現場への女性専用トイレ等の 環境整備率	50%以上
			日建連他各種団体女性活動 関連行事への参画	関連行事への参画率	50%以上	100% (※3)	◎	関連行事に対しての 意欲的な参画率	80%以上
5	持続可能な建設業の技術 	土木・建築・環境分野 の技術	積雪寒冷地ならではの技術の活用 スマート技術 (ICT技術等) の導入推進 低炭素・脱炭素に向けた新技術の推進	有効な技術の活用推進		継続推進	—	有効な技術の活用推進	
		まちづくりへの貢献	街並みと賑わいを創出する 再開発事業への参画	事業推進を担うパートナー としての事業継続件数	1件/年以上	3件	◎	事業推進を担うパートナー としての事業継続件数	1件/年以上
		災害復旧への貢献	被災した施設の 早期機能復旧への貢献	迅速な情報収集と 復旧・復興への積極的協力	災害復旧工事 依頼に対する対応 100%	要請なし	—	防災協定の締結 復旧・復興への積極的協力	災害復旧工事 依頼に対する対応 100%
6	持続可能な社会の実現 	パートナーシップの 推進	産学官連携プロジェクトの推進	異業種企業との対話、共同研究 の実施、セミナー等への出席率	80%以上	98%	◎	異業種企業との対話、共同研究 の実施、セミナー等への出席率	80%以上
		国際協力の推進	グローバルな視点における持続 可能な社会実現のための海外支援	開発途上国の工事参画の 継続件数	1件/年以上	3件	◎	開発途上国のプロジェクト 継続件数	1件/年以上

※1…評価の目安 ◎: 80%以上の達成 △: 50%未満の達成
○: 50～80%の達成 —: 評価対象なし

※2…情報漏えいはなかったが、
2020年10月5日、社外からサイバー攻撃を受け、
ネットワークおよびサーバーに大きな被害があった。

※3…新型コロナの影響により、参画できる
行事件数が2件しかなかった。

SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは？

“健全な地球を未来へつなぐための 私たちの行動目標”です

世界には多くの課題があふれています。その中でも特に重要な
課題について「17のゴール」を設定し、全世界で取り組んで
いこうと掲げているのがSDGs(持続可能な開発目標)です。

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標
(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な
開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの
国際目標です。
持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、
地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。
SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)
なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

新たなプロジェクトへのチャレンジ

私たちは、これまでの活動に対する目標設定と評価を継続的に実施しつつ、さらに
2021年度から、大きな社会課題の解決に向けた新たな取り組みにチャレンジします。

